図 解 ノ ー ト ①

英語のしくみ

be動詞と「品詞のはたらき」

単語をたくさん覚えているのに英文が作れない。
それは **記憶力の問題ではなく、単語の「役割」を知らないだけ**。

英語の単語には、ぜんぶ **決まった仕事（品詞）** があります。
仕事がわかると、**置く場所が決まり、文はひとりでに組み上がります。**

このノートは、その一番おおもとにある
「品詞」と「be動詞」だけを、図で見えるようにしたものです。

名前 _____

STEP 1　英語の文は「部品」でできている

日本語は「てにをは」で意味が決まります。英語には、それがありません。
かわりに英語は **置く場所** で意味が決まります。だから、どの単語をどこに置くかを決める **「品詞」** が命になります。

単語には、ひとつずつ「仕事」がついている



I am a good player.（私はよい選手です）

品詞早見表 ― この表は、ずっと横に置いておくこと

品詞	あらわすもの	文の中での仕事（どこに置くか）	例
名詞	人・もの・こと	主語になる／動詞のあとに来る	Tom, dog, water, school
代名詞	名詞のかわり	名詞と同じ場所に入る	I, you, he, she, it, we, they
動詞	する・である	**文の心臓。1つの文に1つだけ**	play, run, like / am, is, are
形容詞	どんな	名詞の前／**be動詞のうしろ**	big, happy, kind, new
副詞	どのように・いつ	動詞をくわしくする（なくても文は成立）	fast, well, today, very
前置詞	名詞の前につく	名詞とセットで「場所・時」をつくる	in, on, at, to, from
冠詞	名詞の目印	名詞の前につく	a, an, the

覚え方のコツ　単語を覚えるとき、意味だけでなく「名詞／動詞／形容詞」のどれかを一緒に言う。これだけで、置く場所を間違えなくなります。

STEP 2　動詞は、たった2種類しかない

英語の動詞は、山ほどあるように見えて **2つのグループに分かれるだけ** です。ここを分けられるかどうかが、最初の分かれ道になります。

A　be動詞

意味は「＝（イコール）」だけ。
左と右を結びつける道具です。

am / is / are / was / were

I **am** a student.
私 ＝ 学生

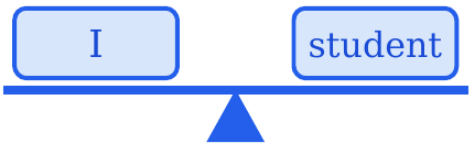
B　一般動詞

意味は「〜する」。
be動詞以外は、ぜんぶこちら。

play / run / like / have / go …

I **play** soccer.
私は サッカーを する

A｜be動詞＝てんびん（つりあう）



I am a student.

B｜一般動詞＝動きが起きる



I play soccer.

いちばん大事なルール　—　1つの文に、動詞は1つだけ

be動詞と一般動詞は、**同じ文の中に一緒に入れられません。**「＝である」と「〜する」を同時に言うことはできないからです。

✗ まちがい

I am play soccer.

am（＝である）と play（する）が両方入っている

✓ 正しい

I play soccer.

「サッカーをする」なら、動詞は play だけ

✗ まちがい

He is run fast.

is と run が両方ある

✓ 正しい

He runs fast.

「走る」なら、動詞は runs だけ

STEP 3　be動詞のうしろに来るものは、3つだけ

be動詞は「＝」なので、**うしろには「左と等しくなれるもの」しか置けません。**
置けるのは、次の3種類だけです。これ以外は来ません。



「＝」の右がわに、動作（する）は入れられない　——　これが be動詞のいちばん大事な性質

3つのパターンを、声に出して確認する

うしろに来るもの	例文	日本語で言うと
① 名詞	He is my brother.	彼 ＝ 兄　（同じ人）
② 形容詞	He is kind.	彼 ＝ やさしい　（どんな状態か）
③ 場所	He is in the park.	彼 ＝ 公園にいる　（前置詞＋名詞）

ここがつまずきポイント　「〜にいる／ある」も be動詞です。I am in Tokyo. の am は「です」ではなく「いる」。
どちらも **「＝」で結んでいるだけ** だと考えれば、同じ働きだとわかります。

✗ まちがい
She is in Tokyo live.
is のうしろに live（動詞）を足している

✓ 正しい
She lives in Tokyo.
「住んでいる」は動作 → 一般動詞の文にする

STEP 4　be動詞は、主語を見れば自動的に決まる

am / is / are / was / were の選び方に、考えることはありません。**主語と時（今か過去か）を見るだけ**で機械的に決まります。

be動詞 早見表 ― 迷ったら必ずここに戻る

主語	今のこと（現在）	過ぎたこと（過去）
I	**am**	**was**
you	**are**	**were**
he / she / it 1人・1つの名詞（Tom, my dog, this book）	**is**	**was**
we / they 2つ以上の名詞（my friends, these books）	**are**	**were**

手順はこの2ステップだけ
① 主語は、上の表のどの行か？　→　② 今のことか、過ぎたことか？　→　交わったマスが答え。

STEP 5　否定文・疑問文は、動詞の種類で作り方が変わる

ここでも **be動詞か、一般動詞か** をまず見分けます。見分けさえつけば、あとは型に当てはめるだけです。

A　be動詞の文

be動詞は、自分で動ける

He **is** busy.

否定　うしろに not を置く
He is **not** busy.

疑問　be動詞を先頭に出す
Is he busy?

B　一般動詞の文

一般動詞は、do / does の助けがいる

He **plays** tennis.

否定　前に does not を置く
He **does not** play tennis.

疑問　Does を先頭に出す
Does he play tennis?

一般動詞のときだけの注意　―　s は does に引っ越す

He plays. → He **does** not **play**. / **Does** he **play**?
does がsを引き受けるので、**動詞は原形（もとの形）に戻ります。** ✗ Does he plays?

STEP 6 品詞がわかると、この先はぜんぶつながる

ここまでの「品詞」と「be動詞」は、これから習うこと全部の土台です。**今つまずいている単元は、別々の暗記ではなく、すべてこの続きにあります。**

① be動詞のうしろの動詞は「形容詞のなかま」という一本の線

単元	形	なぜそうなるか
進行形	be ＋ 動詞ing He is run**ning**.	ing がつくと「走っている状態」という**形容詞のなかま**に変身する。だから be のうしろに置ける。
受動態	be ＋ 過去分詞 It was **built**.	過去分詞も「建てられた状態」という**形容詞のなかま**。だから同じく be のうしろに置ける。 He is run. がダメで He is running. が正しいのは、この違い。

② 比較で形が変わるのは形容詞と副詞だけ

比較級　もっと〜

tall → tall**er**

important → **more** important

短い語は **er**、長い語は **more** を前に置く

最上級　いちばん〜

tall → the tall**est**

popular → the **most** popular

短い語は **est**、長い語は **most**。前に **the** がつく

変化するのは形容詞・副詞だけ。名詞と動詞に比較級なし

比較級・最上級が覚えられないのは、**「どの品詞の話なのか」がわかっていないから**です。 まず「これは形容詞だ」と判断できれば、あとは er / est か more / most を選ぶだけになります。

③ to ＋ 動詞の原形 は、動詞を「別の品詞」に変身させる道具

形	意味と使い方
tell ＋ 人 ＋ **to** ＋ 動詞 My mother told me **to clean** my room.	「（人）に〜するように言う」。to があるので、動詞が2つ並んでもルール違反にならない。
want / ask ＋ 人 ＋ **to** ＋ 動詞 I want you **to come**.	tell とまったく同じ型。**tell / ask / want の3つはセットで覚える。**

まとめ

このページで見た 比較級・最上級／受動態／tell 人 to do は、**ぜんぶ「品詞のはたらき」の話**でした。 バラバラに覚え直す必要はありません。**土台を1つ入れれば、まとめて立ち上がります。**

練習

確認ドリル

早見表を見ながらで OK

練習1　次の語の品詞を、記号で選びなさい

選択肢　ア. 名詞　イ. 動詞　ウ. 形容詞　エ. 副詞　オ. 前置詞　カ. 冠詞　キ. 代名詞

1 dog …… [　　]

2 happy …… [　　]

3 run …… [　　]

4 in …… [　　]

5 she …… [　　]

6 quickly …… [　　]

7 the …… [　　]

8 beautiful …… [　　]

練習2　早見表を見て、正しい be動詞を書きなさい

選択肢　am　is　are　was　were　（同じものを何回使ってもよい）

1 I _____ a student.

2 Tom _____ my friend.

3 They _____ in the park.

4 She _____ busy yesterday.

5 We _____ happy then.

6 My dogs _____ cute.

練習

確認ドリル（つづき）

練習3　正しい文はどちらか、記号で選びなさい

1　ア. I am play tennis.　イ. I play tennis. …… [　　]

2　ア. He is kind.　イ. He is be kind. …… [　　]

3　ア. She in Tokyo.　イ. She is in Tokyo. …… [　　]

4　ア. They are run fast.　イ. They run fast. …… [　　]

5　ア. Does he plays soccer?　イ. Does he play soccer? …… [　　]

練習4　be動詞のうしろに来ているものを、記号で選びなさい

選択肢　① 名詞　② 形容詞　③ 場所（前置詞＋名詞）

1　I am a teacher. [　　]

2　She is tired. [　　]

3　We are at school. [　　]

4　He is my father. [　　]

5　The book is on the desk. [　　]

6　They are very young. [　　]

練習

確認ドリル（仕上げ）

練習5　選択肢から選んで、否定文と疑問文を完成させなさい

選択肢　is not　Is　does not play　Does　play　busy

A｜be動詞の文　もとの文：He is busy.

1　否定文　He _____ busy.

2　疑問文　_____ he _____?

B｜一般動詞の文　もとの文：He plays soccer.

3　否定文　He _____ soccer.

4　疑問文　_____ he _____ soccer?

ふりかえり　― 言えるようになったものに ◯ をつける

[　　] 動詞には **be動詞** と **一般動詞** の2種類がある

[　　] 1つの文に、動詞は **1つだけ**

[　　] be動詞のうしろに来るのは **名詞・形容詞・場所** の3つだけ

[　　] be動詞は **主語と時** を見れば決まる

[　　] 否定文・疑問文は **動詞の種類** で作り方が変わる

[　　] 比較級・最上級で形が変わるのは **形容詞と副詞** だけ

解答

確認ドリル 解答

練習1　品詞

1. ア（名詞）　2. ウ（形容詞）　3. イ（動詞）　4. オ（前置詞）　5. キ（代名詞）　6. エ（副詞）　7. カ（冠詞）
8. ウ（形容詞）

練習2　be動詞

1. am　2. is　3. are　4. was　5. were　6. are

6は My dogs が「2つ以上」なので are。s がついている名詞に注意。

練習3　正しい文

1. イ　2. ア　3. イ　4. イ　5. イ

1・4は動詞が2つ入っている。3は動詞がない。5は Does があるので動詞は原形 play。

練習4　be動詞のうしろ

1. ①　2. ②　3. ③　4. ①　5. ③　6. ②

6の very は副詞で、young（形容詞）をくわしくしているだけ。中心は形容詞。

練習5　否定文・疑問文

1. He **is not** busy.　2. **Is** he **busy**?
3. He **does not play** soccer.　4. **Does** he **play** soccer?

3・4では plays の s が does に移り、動詞は play（原形）に戻る。